

平成23年6月 経営協議会議事録

I. 日 時 平成23年6月13日(月) 14時00分～16時35分

II. 場 所 けやき会館レセプションホール(3階)

III. 出席者 齋藤学長、赤田、有馬、井上、大宮、加賀見、黒木、島田、船橋、
山本、長澤、徳久、嶋津、池田、瀧澤、木庭 各委員
(欠席：佐久間、桜田、宮崎 各委員)
陪席者 来栖、西川各監事

IV. 前回経営協議会議事録について
原案のとおり承認された。

・ 審議事項 (○：学外委員、◎：学内委員)

1. 平成22年度決算(案)について

学長から、平成22年度決算(案)について審議願いたい旨提案があった後、池田理事から資料に基づき説明があり、以下の質疑応答があり、審議の結果、承認された。

なお、学長から、本件は今後役員会で審議のうえ決定し、6月末日までに文部科学省へ提出する旨説明があった。

○ 業務費に対する教育経費の比率が減少しているように参考資料では記載されているが、記載の仕方に工夫が必要ではないか。

GP関係経費の減や総業務費が増したことにより相対的に教育経費の比率が減じたものであるが、今後教育経費の整理の仕方に工夫が必要と考えている。

○ 附属病院の診療経費が総収入額の65%に達しているが、他の国立大学では40%程度のところもあり、これはかなり高い数値である。

○ 外部資金比率の微減が続いている理由は何か。

景気の悪化に伴う外部資金収入の減少に伴うものであり、他大学も同様の傾向にある。

2. 平成24年度概算要求(案)について

学長から、平成24年度概算要求(案)について審議願いたい旨提案があった後、池田理事から資料に基づき説明があり、以下の質疑応答があり、審議の結果、承認された。

なお、学長から、本件は今後役員会で審議のうえ決定し、7月6日(水)までに文部科学省へ提出するが、要求順位については、学長に一任願いたい旨説明があり、承認された。

○ ロボット技術などは予算が付きやすいのではないか。今回の震災の被災地

域の都市計画や緑化計画とも協力できるものがあるのではないか。

- プロジェクト経費（継続分）の要求が理系学部のみであり、長期の課題として文系学部でもプロジェクト経費を要求できるよう留意いただきたい。

3. 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

学長から、平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について審議願いたい旨提案があった後、山本理事から資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

なお、学長から、本件は今後役員会で審議のうえ決定し、6月末日までに文部科学省へ提出する旨の説明があった。

4. 法科大学院認証評価に係る自己評価書（案）について

学長から、法科大学院認証評価に係る自己評価書（案）について審議願いたい旨提案があった後、山本理事から資料に基づき説明があり、以下の質疑応答があり、審議の結果、承認された。

なお、学長から、本件は今後役員会で審議のうえ決定し、6月末日までに大学評価・学位授与機構に提出する旨の説明があった。

- 千葉大学の法科大学院が、設置以来新司法試験合格率等において上位を維持している理由は何か。

設置以来多数4～6倍程度の応募があり、優秀な学生が獲得できていることや、小規模であるため基礎に力点を置いたカリキュラムを組み、中身の濃い授業を提供できていることなどが理由として考えられる。

- 教育理念及び教育目的に「常に生活者の視点を忘れない『心』ある法律家」を掲げ人材を養成していることは素晴らしいが、これからは、グローバルな視野を持った学生やディベート能力を持った学生の育成はより求められるが、この点についての千葉大学の対応はどうかか。

グローバルな視野を持った学生の育成の観点からは、必ずしも十分とはいえない部分もあるが、学生の意識啓発のため、外資系法律事務所の弁護士の講義を実施している。また、ディベート能力を持った人材を育成するために、刑事の模擬演習や刑事・民事の基礎科目の充実を図るとともに、法律事務所におけるエクスターンシップ研修を義務付けるなど、実務に関する基礎科目の充実も図っている。

- 法科大学院の理念として幅広い人材育成があるが、千葉大学の対応はどうかか。

法科大学院の理念に沿って、基礎を重視した教育を1年次から徹底しており、未修学生の育成にも力を注いでいる。

5. 国立大学法人千葉大学の組織に関する規則等の一部改正（案）について

学長から、国立大学法人千葉大学の組織に関する規則等の一部改正（案）について審議願いたい旨発言があった後、審議に先立ち野波副学長から、本件の背景となる「報告事項4」の千葉大学・上海交通大学国際共同研究センターの設置について、資料に基づき説明があった。

引き続き、嶋津理事から、本（案）について資料に基づき説明があり、以下の質疑応答があり、審議の結果、承認された。

○ 上海交通大学は、千葉大学以外の日本の大学と国際共同研究センターのような組織を設置しているのか。

本学以外とは、同様の組織は設置していない。

VI. 報告事項

1. 第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

山本理事から、第1期中期目標期間に係る実務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

2. 平成23年度科研費（補助金分・基金分）の配分について

徳久理事から、平成23年度科研費（補助金分・基金分）の配分について、資料に基づき報告があった。

3. 千葉大学夏期節電実行計画について

山本理事から、千葉大学夏期節電実行計画について、資料に基づき報告があった。

4. 千葉大学・上海交通大学国際共同研究センターの設置について

野波副学長から、審議事項5「国立大学法人千葉大学の組織に関する規則等の一部改正（案）について」の審議の参考として、資料に基づき報告があった。

5. 千葉大学SEEDS基金による東日本大震災被災学生支援について

長澤理事から、千葉大学SEEDS基金による東日本大震災被災学生支援について、資料に基づき報告があった。

6. 平成23年度外国人留学生の状況について

長澤理事から、平成23年度外国人留学生の状況について、資料に基づき報告があった。

7. その他

(1) 平成23年度国立大学法人施設整備費補助事業の内示及び交付申請書の作成について

池田理事から、平成23年度国立大学法人施設整備費補助事業の内示及び交付申請書の作成について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成23年度補正予算（第1号）【国立大学法人施設整備費補助金及び国立大学法人運営費交付金関係】に係る年度計画の変更等について

山本理事から、平成23年度補正予算（第1号）【国立大学法人施設整備費補助金及び国立大学法人運営費交付金関係】に係る年度計画の変更等について、資料に基づき報告があった。

以上